

市政を問う

平成21年 第4回定例会一般質問
質問事項・答弁の要旨

議員の一般質問の質問事項及び答弁の要旨について、一定のスペース内で様式は自由に各議員がまとめたものを掲載しています。

国分寺市は貧乏なのに
国基準では裕福な理由

自民党・新和会 いとう 太郎

第二回生産緑地と相続税について

市街化区域内の農地が現在は国交省所管の都市計画法に関連する生産緑地法の対象になっている。前回及び今回の都市計法の改正時に生産緑地法は審議の対象から外されていると聞いている。相続税納税猶予制度も租税特別措置法で暫定的な制度で、都市農業従事者を困窮させている。本来ならば都市農地を緑地から農地に変更させ、農水省の所管にすることが望ましいと考えている。更に都市農地には新鮮な食材を供給するという本来の目的だけでなく、都市型災害時の貯水能力、ヒートアイランド現象等に対して極めて重要な役割を担っています。これらのことを踏まえて、市として環境省を含めて要望を求めて頂きたいと考えますが、いかがですか。市民生活部長) 都市計画上の都市農地の位置づけだけでなく、環境省や財務省も要望先に加えるということで進めております。

地方交付税の算出方法について

いままで国は均衡ある国土の発展を目指して、地方交付税を地方公共団体に配分してきました。その算出方法は基準財政需要額といい、自治体の人口や高齢者や児童の数に係数をかけて算出しています。この方式では待機児童数や特別養護老人施設の待機者などの実際の需要とかけはなれています。また、硬式野球場やサッカー場そして市民文化会館などの市民要望の高い潜在的な需要もしくは施設の各自治体の整備率が国の算定方式が入っていません。地方交付税法第17条4項に従い総務省に意見を申し出て頂きたい。

「半額助成」決まる！
ヒブワクチン公費助成

公明党 さの 久美子

1. 在宅重度心身障害者巡回入浴サービス事業について

衛生面や、家族の介護負担軽減の観点から、現行の週1回から2回に増やす施策を望む。市) 利用者からの要望はある。現在、障害者計画策定検討協議会で議論中。1月中には方向をだす。市長) 認識を新たにしたい。検討していきたい。

2. ヒブワクチン公費助成について

公費助成金額と回数、助成方法の提示を。市) 上限を4000円として、費用の半額を助成したい。平成22年4月から、それぞれの接種回数に応じて対応、助成は償還払いを予定。母子手帳の接種内容の記載と領収書を確認のうえ、口座振込の予定。償還払いは、近隣市の医療機関にも利用でき、選択肢が増えるメリットがある。

3. 安全・安心のまちづくりについて

①西恋ヶ窪1丁目通学路安全対策について
市民農園南側の道路は狭小であり、危険である。

安全対策と防犯対策を求める。市) 以前からの課題と認識。丁寧に交渉していきたい。防犯対策は11月中旬より巡回パトロールを開始した。②内藤橋街道の歩道安全対策について 交通量増加に加え、歩道幅が狭い。安全対策の検討を求める。市長) 要望をふまえ、改善を図りたい。③防災士の連携について
防災リーダー育成の観点から、民間資格である防災士を登用すべき。まずは国分寺市内在住の防災士に呼びかけ、組織構築の橋渡しの取組みを提案する。市) 提案を受けて情報を入手し、顔合わせの場を提供。今後の検討を図りたい。

高齢者の肺炎球菌ワクチン
接種に公費助成を

公明党 高橋 りょう子

【新型インフルエンザ対策】

①受験生が罹患して欠席したり、拡大防止のため学級閉鎖された場合などの出欠の扱いは。

市) いずれも欠席扱いにはならない。

②ワクチン一瓶は、複数人分で24時間以内の効果と聞く。集団接種も視野に入れては。

市) 供給量に合わせ医師会との協議を進めたい。

【肺炎球菌ワクチン接種を公費助成に】

①高齢者の場合、新型インフルエンザ罹患患者4人に1人が肺炎になりやすく、死因の第4位と怖い病気。国立・小平市等近隣市は、都の補助事業を活用し接種を開始した。早急に取組みを。市) 1度の接種で約5年有効と聞く。政策部と協議し、実施に向け早急に体制をとりたい。

【視覚障がい者への書類等に識別の工夫を】

6月議会で市からの重要な郵便物には触れて識別出来る配慮をと提案したが、その後の対応は。市) 提案を受け「市役所からのお知らせ」との点字シールを貼る方法で試行を重ね、そうした方々への利便性を向上させたい。

【中学校通級学級増設の計画を】

特別支援教育の通級に、小学校は2校6クラスあるが中学には1校のみ。今後の展望は。

市) 市の特別支援教育基本計画に基づき個別支援委員の意見、保護者の要望に考慮したい。

【救急医療情報を安心カード方式に】

救急隊へ情報(病歴、血液型等)提供できる「安心カード」を冷蔵庫等に保管してはどうか。

市) 市民防災推進委員会の「私の救急カード」を活用し、広く浸透を図り使用の向上に努める。

高齢化社会への対応について

市民サイド 森 喜行

●就労支援について…就労待機者の現状と一般企業がシルバー人材センターの得意分野に続々と参入している現状を指摘、センターの技能、資格取得等、一層のスキルアップと、働く場確保、企業等からの受託事業確保等のマネージメ

ント能力の更なる向上を促すよう求めました。

●新たな就労の場づくりについて…市の小口事業資金融資事業、公募型協働事業、協働パートナー育成事業等、組織を超えた連携でシルバー人材センター以外でも高齢者の就労支援策を立ち上げるよう訴えました。商店街に店を出す府中市のシルバー人材センターの事例を紹介、市内の農産物を漬物に加工して販売するなど、商店街の空き店舗を活用した事業を立ち上げたら一石三鳥の効果が見込めると提案しました。

●地域交流・隣人祭りについて…地域の老人クラブ等が更に高齢化するなか、定年退職直後の地域デビューを支援する必要性を指摘、孤独死を無くそうとパリの元市職員がはじめた、隣人祭りと呼ばれる地域の交流事業を紹介、公募型協働事業での企画団体育成を求めました。

●住宅支援について…高齢者、殊に独居老人の孤独対策として市内に残る、庭付きの木造アパートを仲介・提供して菜園を介した隣人との交流を図る施策を求めました。

●児童との交流について…立川市の若葉町団地で児童が登校時に高層階の独居老人等のごみ出しボランティアを行っている事例を紹介、文化スポーツもふくめて世代交流を一層図るように教育長に求めました。

校庭の芝生化・
公園のバリアフリー化、他

公明党 松長 孝

問) 校庭の芝生化の実験段階を終え、どのような感想を持っているのか？

答) 全面芝生化をした場合、通常の校庭に比べ地表面の温度が8.3度低いと言われている。今後拡大に向けて取り組む事業である。

問) 学校ガラス窓の耐震化について。その後の進捗状況はどうなっているのか？

答) 年度内に調査を終了し計画的に進めていく。

問) 公園のバリアフリー化について。状況は？

答) 来年度には終了する予定で取り組んでいる。

問) 連雀通りの安全対策について。3小北側の交差点の隅切りができていない所は大変に危険である。今後どう対策していくのか？

答) 都道なので東京都に強く働きかけていく。

問) 庁舎のシステムについて。過去3年間の契約だけでも17億円以上になっている。競争入札にしなければ経費が削減されないのでは？

答) 今後競争入札の方向で考えている。

問) 労使交渉の公開について。平成21年秋までに公開すると言っていたが、未だにされていない状況についてどう打開していくのか？

答) 文書での申し入れをした場合、当然公開はできる。今年度は文書での申し入れが2件ありそれは公開の対象になる。

問) 労使交渉の内容を公開したのは今回が初めてだ。大きな前進であり高く評価をしたい。今後は全てを文書化し、公開をしていく努力をしていただきたい。

答) 今後は口頭での申し入れを無くし文書で出し全て公開する努力をしていく。